

にらさき

第1回定例会（3月）	P2
第1回定例会議決結果	P4
委員会活動報告	P5
ここが聞きたい(代表・一般質問)	...	P7



武田信玄公から風林火山の一節「疾こと風の如く」^{はやき}を賜り、甲州軍団風の軍団6番隊として甲府本陣に出陣する甘利備前守虎泰隊の出陣式が、4月4日、J R 韮崎駅前広場で行われました。

本年は、大将に市議会副議長 秋山 泉、武将DE恋活参加者など35人、サポート役の山梨住みます芸人“ぴっかり高木”と“いしいそうたろう”の2人、総勢38名の皆さんが凛々しい武者姿で参加されました。



本年の出陣式も、韮崎工業高校太鼓部の皆さんに和太鼓の演奏で会場を大いに盛り上げていただきました。日頃の研鑽の成果が存分に発揮され、大きな拍手に包まれました。

平成27年度 当初予算総額251億6,073万7千円

内訳

- 一般会計 …………… 130億7千万円
- 特別会計(13会計) ……… 77億4,190万8千円
- 企業会計(2会計) ……… 43億4,882万9千円

第1回定例会(3月)は、2月26日から3月18日までの21日間の会期で開催しました。前年度当初予算より、3.2%増の130億7千万円となった平成27年度一般会計当初予算をはじめ、各会計の当初予算や条例の制定、改正、また平成26年度補正予算など48案件を審議し、全て可決しました。

【条例等】

本議会で審議した議案については、4頁の「平成27年度第1回定例会議決結果一覧表」をご覧ください。

主な条例の制定及び改正

■ 市長等及び職員の給与の特例に関する条例〔議案第25号〕

市長等(市長、副市長及び教育長)及び課長職の給料月額に係り、社会情勢等の変化により、平成27年4月から平成28年3月支給分について、給料月額に100分の1.5を乗じて得た額に相当する額を減じることを可決しました。

なお、この期間の期末手当等の額についても、この条例に定める減額後の給料月額を準用します。

■ 恩賜林保護財産区管理委員会委員の報酬及び費用弁償に関する条例及び特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例〔議案第33号〕

県内他市の状況等を勘案した見直しにより、報酬等の改正条例案が提出され、議会でも執行部から趣旨の説明や地区長連合会での協議状況等について報告を受け、執行部に対して質疑を行うとともに、平行して議員全員での協議や本会議での質問等を通して、議論、検討を重ねてきました。

本会議の議案の採決では、賛成する議員の起立多数で可決しました。

対象となるものの報酬の年額の改正の概要は右のとおりです。〔一部抜粋〕

なお、この条例は平成27年4月1日から施行されました。

※市では、自治会活動のさらなる活性化と各自治会の自己決定による運営を促進するため、用途を特定しない(自由度の高い)交付金を支給します。

区分	改正前	改正後
教育委員会委員長	470,000円	312,000円
教育委員会委員	355,000円	228,000円
監査委員(識見)	470,000円	348,000円
監査委員(議員)	295,000円	216,000円
農業委員会会長	371,000円	273,000円
農業委員会会長代理及び部会長	192,000円	220,000円
農業委員会委員	182,000円	200,000円
地区長	代表 102,000円 地区長 93,000円	90,000円+(地区の世帯数51世帯以上5,000円/101世帯以上10,000円)
地区長代理	15,000円	—
組長	12,000円	—
農政協力員	8,400円	—
農業土木員	12,000円	—
環境衛生指導員	12,000円	—

■市立図書館条例の一部を改正する条例〔議案第40号〕

図書館の開館時間の延長を可決しました。

開館時間は、平日：午前10時から午後8時まで

土曜日、日曜日及び休日：午前9時から午後8時まで

※閉館する時間が午後8時まで延長されました。

なお、この条例は平成27年4月1日から施行されました。



■市議会議員の議員報酬の特例に関する条例〔議第1号〕

議員発議により、市議会議員の報酬月額に係り、社会情勢等の変化により、平成27年4月から平成28年3月支給分について、報酬月額に100分の1.5を乗じて得た額に相当する額を減じることを可決しました。

なお、この期間の期末手当の額についても、この条例に定める減額後の報酬月額を準用します。

◇議員の報酬月額について

区分	改正前	改正後
議 長	369,000 円	363,465 円
副 議 長	345,000 円	339,825 円
議 員	336,000 円	330,960 円

◇議員の期末手当について

改正後の報酬月額に1.2を乗じて得た額に、年間支給割合（3.05）を乗じた額に減じられます。

※期末手当の支給月及び割合については、6月が1.45、12月が1.6です。

【選挙】

峡北広域行政事務組合議員補欠選挙及び下来澤恩賜県有財産保護組合議員選挙が行われました。選挙の結果は次のとおりです。

■峡北広域行政事務組合議員補欠選挙

峡北広域行政事務組合議員に欠員が生じたので補欠選挙を行いました。

当選 浅川 裕康 議員

■下来澤恩賜県有財産保護組合議員選挙

平成27年3月31日をもって任期満了となる下来澤恩賜県有財産保護組合議員について選挙を行いました。

選挙すべき議員の地域及び数は、小田川1人、上円井1人、下円井1人、夏目1人、伊藤窪、次第窪、石水、重久、久保2人です。

当選 齊藤 正三 氏（中田町）

伊藤 強 氏（円野町）

澤野 道範 氏（円野町）

守屋 一 氏（穴山町）

石合 之貴 氏（穴山町）

藤森 儀文 氏（穴山町）

【人事】

■副市長の選任について

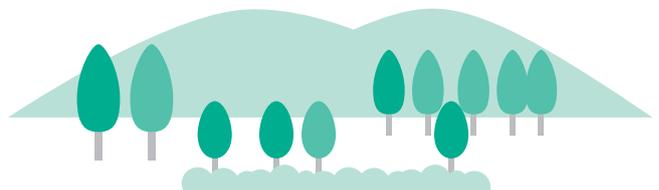
副市長の選任について議会の同意を求める必要があるため、次の方の選任に同意しました。

水川 秋人 氏（竜岡町）

請願

☆請願第27-1号 政党助成金の廃止を求める請願

提出者：進歩と革新をめざす葦崎の会
委員会付託先 → 総務教育常任委員会
委員会の審査結果 → 継続審査



平成27年 第1回定例会議決結果一覧表

賛否のあった議案

○賛成 ●反対（清水一議長を除く）
※高添秀明議員欠席

議案番号	件名	浅川裕康	守屋久	宮川文憲	清水康雄	西野賢一	小林伸吉	奥石賢一	秋山泉	岩下良一	森本由美子	野口紘明	藤嶋英毅	一木長博	清水正雄	小林恵理子	結果	
議案第9号	平成27年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決	
議案第10号	平成27年度国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
議案第14号	平成27年度介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
議案第26号	保育料条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
議案第30号	教育長の勤務時間、休暇等及び職務に専念する義務の特例に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
議案第31号	職員給与と条例及び職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	可決
議案第32号	市長等給与及び旅費条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
議案第33号	恩賜林保護財産区管理会委員の報酬及び費用弁償に関する条例及び特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第36号	介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

全会一致の議案

議案番号	件名	結果
報告第1号	専決処分の承認を求めることについて（訴えの提起について）	承認
議案第1号	平成26年度一般会計補正予算（第5号）	可決
議案第2号	平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第3号	平成26年度簡易水道特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第4号	平成26年度下水道事業特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第5号	平成26年度介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第6号	平成26年度第一鈴嵐恩賜林保護財産区特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第7号	平成26年度旭山恩賜林保護財産区特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第8号	平成26年度青木御座石財産区特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第11号	平成27年度後期高齢者医療特別会計予算	可決
議案第12号	平成27年度簡易水道特別会計予算	可決
議案第13号	平成27年度下水道事業特別会計予算	可決
議案第15号	平成27年度介護サービス事業特別会計予算	可決
議案第16号	平成27年度国民健康保険葦崎市立病院事業会計予算	可決
議案第17号	平成27年度水道事業会計予算	可決
議案第18号	平成27年度第一鈴嵐恩賜林保護財産区特別会計予算	可決
議案第19号	平成27年度第二鈴嵐恩賜林保護財産区特別会計予算	可決
議案第20号	平成27年度第二御座石前山恩賜林保護財産区特別会計予算	可決
議案第21号	平成27年度旭山恩賜林保護財産区特別会計予算	可決
議案第22号	平成27年度八森恩賜林保護財産区特別会計予算	可決

議案番号	件名	結果
議案第23号	平成27年度戸沢日影半腹裾恩賜林保護財産区特別会計予算	可決
議案第24号	平成27年度青木御座石財産区特別会計予算	可決
議案第25号	市長等及び職員の給与の特例に関する条例	可決
議案第27号	子ども・子育て支援法に基づく過料に関する条例	可決
議案第28号	小水力発電施設整備基金の設置、管理及び処分に関する条例	可決
議案第29号	いじめ問題対策連絡協議会等設置条例	可決
議案第34号	行政手続条例の一部を改正する条例	可決
議案第35号	放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例	可決
議案第37号	介護保険法施行規則等の一部を改正する省令の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	可決
議案第38号	企業立地支援条例の一部を改正する条例	可決
議案第39号	市営住宅設置及び管理条例及び定住促進住宅条例の一部を改正する条例	可決
議案第40号	市立図書館条例の一部を改正する条例	可決
議案第41号	山梨県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更に伴う山梨県市町村総合事務組合規約の変更について	可決
議案第42号	葦崎市・北杜市指導主事共同設置規約の変更について	可決
議案第43号	市道の路線認定について	可決
議案第44号	副市長の選任について	同意
議 第 1 号	市議会議員の議員報酬の特例に関する条例	可決
選挙第1号	峡北広域行政事務組合議員の補欠選挙について	当選
選挙第2号	下米澤恩賜県有財産保護組合議員の選挙について	当選

委員会活動報告

各常任委員会の議案に係る条例等については、4頁の「平成27年 第1回議決結果一覧表」をご覧ください。

総務教育常任委員会

〔3月定例会会期中の委員会〕

3月13日開催(出席議員6人)

■主な審査事項

- 議案第25号、29号、30号、31号、32号、33号、34号、40号、41号、42号
- 右の議案のうち、議案第25号、29号、30号、32号、34号、40号、41号、42号の8案件は、全員一致で可決すべきものと決しました。
- 議案第31号及び33号は、挙手多数で可決すべきものと決しました。
- 請願第26-8号・消費税増税の撤回を求める意見書提出を求める請願(継続審査案件)
- 請願第27-1号・政党助成金の廃止を求める請願(新規案件)
- 請願第26-8号及び27-1号は、挙手多数で継続審査案件とすることに決しました。

〔現地視察〕

●5月下旬に小・中学校及び市立図書館を視察する計画です。学校では施設管理の状況や教職員との意見交換を計画しています。また、市立図書館では蔵書の管理や図書館の利用状況等を管理者から説明を受け、意見交換を行う計画です。

市民生活常任委員会

〔3月定例会会期中の委員会〕

3月13日開催(出席議員5人)

■主な審査事項

- 議案第26号、27号、35号、36号、37号
- 右の5議案は、全員一致で可決すべきもの

と決しました。

- 請願第26-7号・誰もが安心して老後をくらせる最低保障年金制度の創設を求める請願(継続審査案件)
- 請願第26-7号は、全員一致で継続審査案件とすることに決しました。

〔現地視察〕

2月18日実施(出席議員6人)

- 「愛の家グループホームにらさき」を訪問して、ホーム長から施設の運営や地域との関わり合いなどの説明を受け、施設利用者の使用状況を案内いただきました。
- 再編保育園第2園建設予定地を視察し、今後の構想等について説明を受けました。
- 市立病院では、オーダリングシステムの稼働状況や電子カルテ化に向けての取り組みについて説明を受けました。



「愛の家グループホームにらさき」視察

産業建設常任委員会

〔3月定例会会期中の委員会〕

3月13日開催(出席議員5人)

■主な審査事項

- 議案第28号、38号、39号、43号
- 右の4議案は、全員一致で可決すべきものと決しました。

- 請願第26-2号・労働者派遣法の改悪に反対する意見書の提出を求める請願

- 請願第26-3号・「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願(両請願は継続審査案件)
- 請願第26-2号及び26-3号は、挙手多数で継続審査案件とすることに決しました。

〔現地視察〕

3月25日実施(出席議員5人)

- シャッターアート(本町通り)、小水力発電施設(円野町)、ワインの丘プロジェクト予定地(穂坂町)、市道6号線改良工事(藤井町)、市営祖母石住宅外壁等改修工事(下祖母石)をそれぞれ視察し、取り組みや進捗状況等の説明を受けました。



「小水力発電施設」視察

研修報告



代表質問

一般質問

10人の議員が市政を問う

とらなまきのまちづくり
ここが聞きたい

代表質問及び一般質問の内容は、項目は抜粋、質問と答弁は要約したものです。
詳細な内容は、
「[韮崎市ホームページ](#)」↓市議会↓会議録検索で
ご覧いただけます。録画中継も配信しています。

平成26年度の会派研修を報告します。
本市議会には「[韮政クラブ](#)」、「[共伸クラブ](#)」、「[公明党](#)」、「[日本共産党](#)」、「[経世クラブ](#)」の5会派の届出があり、このうち、[韮政クラブ](#)、[共伸クラブ](#)、[公明党](#)が会派研修（行政視察）を行いました。

なお、各会派の所属議員は次のとおりです。

- | | | | | |
|-------------------------|--------|-----------|-------|-------|
| □ 韮政クラブ | 一木 長博☆ | 清水 一 | 野口 紘明 | 西野 賢一 |
| | 高添 秀明 | 宮川 文憲 | 守屋 久 | 浅川 裕康 |
| □ 共伸クラブ | 清水 康雄☆ | 清水 正雄 | 岩下 良一 | 秋山 泉 |
| | 輿石 賢一 | | | |
| □ 公明党 | 小林 伸吉☆ | 森本由美子 | | |
| □ 日本共産党 | 小林恵理子 | | | |
| □ 経世クラブ | 藤嶋 英毅 | (☆は、会派会長) | | |

【注意】会派異動届が提出され、平成27年4月1日、守屋 久議員が「[創生会](#)」を結成し、平成27年4月以降は6つの会派となっています。

■会派研修

□[韮政クラブ](#)

研修項目 農業を柱としたまちづくり（ブランド化した農業）
研修先 平成26年9月29日…北瑛小麦の丘（旧北瑛小学校）〔北海道 美瑛町〕
考察 基幹産業である農業を活かし、廃校を改築して、農業・食・観光をテーマとした体験研修施設の整備を進め、都市との交流、地元農産物の販路拡大、観光客入込数の増加に取り組んでいる。本市が進めているワイン特区でのプロジェクトに活かせる事例としても有益であった。

その他の研修

- ・地域資源を活用した新しい産業の創出への取り組み
平成26年9月30日…[\(財\)下川町ふるさと開発振興公社](#)〔北海道 下川町〕
- ・自治体財政の見方 ～健全化判断比率を中心に～
平成27年1月13日～14日…市町村議会議員研修〔滋賀県 大津市〕

□[共伸クラブ](#)

研修項目 田舎暮らしなど定住者対策の取り組み、他
研修先 平成26年7月24日…[駒ヶ根市役所](#)〔長野県 駒ヶ根市〕
考察 官民が協力して移住者の受入施策を強力に推進している。東京や名古屋、大阪で開催する移住相談会も好評である。本市は東京に近い立地にあるので、市内の各種団体で連携を図る体制を構築し、本市の風光明媚で交通アクセスに優れた立地環境を発信することで広く関心が持たれることが期待できる。

その他の研修

- ・[南信州観光公社](#)設立の経緯、他
平成26年7月25日…[\(株\)南信州観光公社](#)〔長野県 飯田市〕
- ・人口減少化対策、他
平成27年2月2日…[鳥栖市役所](#)〔佐賀県 鳥栖市〕
- ・市民交流センターの利活用、他
平成27年2月3日…[鹿島市役所](#)〔佐賀県 鹿島市〕

□[公明党](#)

研修項目 「[絵本の里・けんぶち](#)」の取り組み
研修先 平成26年7月31日…[剣淵町教育委員会](#)〔北海道 剣淵町〕
考察 「[絵本の里づくり](#)」は「住民が主体者である」「子ども達の豊かな心を皆で育てよう」というコンセプトで活動する中で、その概念が福祉や農業分野、協働のまちづくりの醸成にまで拡大している。まちづくり、また子ども達の健全な成長に寄与する優良な事例であり、施策提言等に活かしていきたい。

その他の研修

- ・指定管理者制度の活手法及び指定管理者制度における評価制度
平成26年8月1日…[地方議員研修会](#)〔北海道 札幌市〕

代表質問



宮川 文憲 議員
[葦政クラブ]

施政方針について

質問 財政健全化・経済対策、地方創生元年に向けての市の取り組みと赤ワインの丘プロジェクト計画の今後の取り組みについて、また子育て支援に取り組む企業の指標として企業子宝率があるが、本市のモデル企業に光を当て、他企業への拡大を図ること。更に将来を見据えた新たな子育て支援策の取り組みについて。

その他質問

- ◆事務事業の改善拡充について
- ◆マイナンバー制度について
- ◆空き家対策について
- ◆安全安心なまちづくりと教育について

ツアールの開催、特産品の開発等を実施する予定です。

次に、子育て支援に積極的な企業を増やす取り組みについては、男女共同参画推進プランでも、男女がともに働きやすい職場環境の整備を重点項目の1つに掲げており、議員よりご紹介いただきたい企業の取り組みが、他企業にも拡大していく支援策等を小規模企業振興基本条例の制定とあわせて研究してまいります。

葦崎警察署の移転について

質問 昨年、県警より甲斐市内への移転計画が公表されたが、市長はいかが受け止めているか。

答弁 市長 地域の安全安心

心を担ってきた拠点施設が無くなることは、大変残念な思いです。諸般の事情に配慮した決定であり、葦崎に近い立地で、管轄エリアへのアクセス等を勘案すると止むを得ない判断と思われまます。この移転で、市民の治安対策への安心感を損ねることがないように、知事、県警本部長に葦崎駅前交番の機能強化拡充、庁舎跡地の利用について要請し、影響が最小限となるよう努めてまいります。

障がい者の雇用状況について

質問 障害者雇用促進法は公的機関は2.3%以上、50人以上の規模の民間企業は2%以上の雇用を義務づけているが、実情と取り組みはどうか。

答弁 市長 市内の公的機関の対象は市役所のみで1.61%と法定雇用率に達していません。市内対象企業数は31社で、平均雇用率2.05%、うち法定雇用率をクリアしている企業は20社64.52%です。市役所では努力を怠ることなく進め、企業には市としての支援も含め、官民協働で進める考えです。

代表質問



清水 正雄 議員
[共伸クラブ]

市長の政治姿勢について

質問 市長は、市政運営の基本方針として「チーム葦崎」で取り組む3つの挑戦、「強くて美しいまち」、「元気で豊かなまち」、「夢と思いやりのあるまち」の実現を掲げているが、これらの予算はどのような事業に反映されているのか。

答弁 市長 防犯灯のLED化促進、自主防災組織支援事業補助金の創設、小規模企業振興基本条例の制定、赤ワインの丘プロジェクトの推進、健康ウォーク推進事業等の健康寿命の延伸などへの取り組みを予算化したところであります。

その他質問

- ◆葦崎警察署の甲斐市内への移転について

を活気づけ市民の信頼へと繋がると考えています。

質問 職員意識改革の必要性についての考えは。

答弁 市長 職員の意識改革は、職場の活気からと考え、明るく元気に挨拶するよう指導してきました。継続した実践が職場

質問 新年度に導入する

人口減少化対策について

質問 人口減少化対策として効果的な戦略は。

答弁 市長 人口減少要因は複雑かつ複合的であり、若者や子育て世代の支援、移住定住者対策、雇用や居住環境への支援など、関連する分野の継続した取り組みが重要と考えています。

質問 新年度に導入する

移住・定住促進対策の事業施策の概要は。

答弁 市長 新設の人口対策担当において、移住者受入のワンストップ体制、官民協働の移住支援体制を構築します。施策については、移住セミナーの開催、空き家の改修助成、市営住宅への子育て世帯の入居緩和、お試し居住事業などを実施します。

質問 農商工連携での産業起こしについて、赤ワインの丘プロジェクトの計画の概要、将来構想は。

答弁 市長 ワイナリーを核とした各施設の整備計画には、農産物直売所や加工場、レストラン等の施設も含まれています。

質問 個店では対応できない変化の対応や商店街の一体感などは、行政の責任で指導すべきでは。

答弁 市長 行政、商工会、事業主の連携が必要不可欠であり、ご意見を拝聴しながら可能な限りの支援を継続する考えです。

質問 5年後の東京オリンピックの受入準備は。

答弁 市長 「武田の里富嶽36景」の選定及びPR、特産品の開発に取り組みます。

代表質問



森本由美子 議員
[公明党]

「地方創生」に向けた本市の「地方版総合戦略」の策定について

質問 地方創生の鍵は、「地方版総合戦略」の策定に際し、どのような人材をどう活かし、責任を持って戦略を推進できるかにかかっています。

「まち・ひと・しごと」を創生する戦略を立てるための人材の確保の考えは。また、本市の特色や個性をどう活かすのか。

答 市長 市民や学識経験者をはじめ、広範な委員の審議を踏まえ、本市の特性である豊かな自然と景観、住みやすさと充実した生活環境などを戦略策定に活かしていきたいと考えています。

質問 そこに住む方々の声をどのようにして取り込んでいくのか。

答 企画財政課長 アンケート調査を実施する予定であり、また実際に声

その他質問

- ◆いじめ問題の対策について
- ◆認知症高齢者にやさしい地域づくりについて

を聞く場も設けたいと考えています。

社会保障と税の共通番号(マイナンバー)制度について

質問 マイナンバー制度は、国民一人一人に新たに12桁の個人番号を指定し、その番号を利用して行政運営での効率化や公正な給付と負担の確保など国民の利便性の向上を図ることを目的としています。平成28年1月の運用に向け、本年10月より個人番号の通知が開始されますが、内閣府が1月に行った世論調査では「制度の内容を知らない」と回答した人が70%を超えたとの報告がありました。マイナンバー制度により、市民にとって期待される効果と個人情報保護についての対応は。

答 市長 住民票や所得証明など添付書類の削減により行政手続の簡素化が想定されます。また、

行政等が他の行政情報を把握しやすくなるため、本当に困っている方にきめ細かな支援を行うことが可能となり、公正・公平な社会の実現に寄与すると考えます。個人情報保護については、アクセス制限の強化や通信の暗号化など個人情報の漏えい防止に関する対策を講じてまいります。

英語教育の強化について

質問 平成32年度から全面実施される新学習指導要領においては、小学校での英語の教科化を指すとしています。それまでの本市の取り組みは。

答 教育長 平成27年度に新たに計画している英語教育強化地域拠点事業(文部科学省のモデル事業)で、今後小学校に導入される英語科を先行的に試行し、検証します。小・中・高の連携を図る先進事例であり、市内全小・中学校を対象とするのは全国初の試みです。

質問 指導体制の充実が求められているが。

答 教育長 新年度、中学校に追加された専科教員が小学校に向向いて、2名のALTと担任に助言、指導を行います。

一般質問



守屋 久 議員
[荏政クラブ]

農業基盤整備事業の導入について

質問 穴山町の事業実施に向けての今後のスケジュールと留意点を伺います。

答 市長 今後のスケジュールについては、地元から整備要望箇所を挙げただき、本年6月中旬までに県、市、地元と協議し、主要道路等の計画路線選定を行います。

その後、平成28年度事業実施に向け、明年3月までに、県において調査及び土地改良事業の採択手続を行う予定となっています。

なお、留意点としては、平成25年度調査の全体延長20キロの水路全てを本事業で整備することは困難な状況なので、主要水路以外については、今後市の単独事業等で検討します。

公共施設等の老朽化対策について

質問 本市における行動計画について伺います。

答 市長 我が国全体で公共施設等の老朽化対策が大きな課題となっており、国においても「新しく造ること」から「賢く使うこと」への重点化が課題との認識のもと、「インフラ長寿命化基本計画」が策定されました。さらに、国は地方公共団体に対しても、この歩調にあわせて、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画「公共施設等総合管理計画」の策定に取り組みよう要請してきており、その指針が示されたところです。

本市としては、当該計画を策定するため、昨年11月に公共施設等マネジメント推進チームを立ち上げ、公共施設等施設内容、利用状況、維持管理コストの分析、並びに将来の更新費用の試算等を行っている状況です。

今後はこの分析結果をもとに、公共施設等の更新・統廃合・長寿命化等の基本方針を明年度中に

教職員組合の活動について

質問 教育研究全国集会の開催にあたり教育委員会の見解を伺います。

答 教育委員長 「教育公務員特例法」により、「教育公務員はその職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない。」とされており、公的機関が実施する研修のみでなく、民間の研修等にも自主的に参加できることになっています。同法により認められている教職員団体が主催する「教育研究全国集会」も同様な研修の機会の一つであり、本市からは、土・日を中心に、各学校から1、2名が、自主的に参加したとのこと

です。自己責任のもと、指導力を磨くために積極的に研修を積んでいるところなので、今後も見守っていききたいと考えています。



清水 康雄 議員
[共伸クラブ]

その他質問

- ◆市民提案制度について
- ◆選挙用立候補者掲示板の設置個所について
- ◆葦崎市景観条例について

平成27年度予算編成について

質問 始めに基本方針と重点施策について、市長が所信表明で掲げた中で特に重要と定めて取り組む施策は何か。次に市税等の収入の見通しについて、法人税を昨年比32.3%増と見込んだ根拠は何か。次に大型事業の計画と具体的な取り組みについて、甘利小学校の改築の計画があるが、このほか長期総合計画の中に掲げている大型事業についての今後の取り組みについて伺います。

答 市長 始めに基本方針と重点施策については、「強くて美しいまち」「元気で豊かなまち」「夢と思いやりのあるまち」の実現を目指し、「チーム葦崎で新たなまちづくり」に挑戦する考えです。次に市税等の収入見通しについては、主要法人への企業訪問や見込調査の結果

産業振興について

により試算したものです。次に今後の大型事業の計画と具体的な取り組みについては、第2再編保育園の整備のほか、本市の財政見通しと現在策定している公共施設等総合管理計画との整合性を図りながら取り組む考えです。

質問 始めに観光客など交流人口の現状として、昨年度の交流人口はどのくらいあったのか。次に第6次産業への支援策と農産物加工品のブランド化に向けた今後の取り組みは。次に地元産材の個人住宅及び公営住宅等への利活用についての考えを伺います。

答 市長 始めに交流人口については、昨年度3,600人と推計しており、その拡大を目指しています。次に第6次産業への支援策と今後の取り組みは、赤ワインの丘プロジェクトへの研究支

援並びに、マスカットベリーAを原材料とした赤ワインのブランド化に取り組み考えです。次に地元産材の利活用については、すずらん保育園のような木の良さをPRできる施設を多く造り、木造住宅や木を多用する住宅の魅力を発信していく考えです。

中部横断自動車道スマートインターチェンジの設置について

質問 中部横断自動車道については、平成29年度双葉JCから静岡間の開通に向け工事が進められているが、旧八田村地内へのスマートインターチェンジの設置についての市の考えを伺います。

答 市長 昨年5月南アルプス市とともに、県に対して設置の要望を行いました。現在、接続位置や概略構造の検討及び利交通量の推計を行っており、今後この結果を踏まえ、整備費用や効果などについて、さらに検討していくとのことであり、市としても、実現に向けて南アルプス市と連携をとり、引き続き要望していきます。

地域経済対策プレミアム商品券の活用について

質問 国は景気回復の実感を家計や中小企業、地方に届け、地域の消費喚起や地方創生のため、地方自治体が各地の実情に応じた使い方が決められる交付金を補正予算で創設し、地域の商店街に活気をもたらすために、プレミアム商品券等の発行を支援しています。本市のドリーム商品券発行事業の詳細を伺います。

答 市長 本市のドリーム商品券は、総額1億8,500万円(15,000セット)で、プレミアム率は20%とし、さらに子育て応援プレミアム分として10%を上乗せします。販売及び使用期間は、本年の6月1日から12月31日の予定です。また、15歳以下の子供を養育する子育て世帯には、一般発売前の5月29日



小林 伸吉 議員
[公明党]

がん対策について

31日までの3日間、子育て応援プレミアム分(5,000セット)を市役所で先行発売します。

質問 ピロリ菌検査について伺います。ヘリコバクター・ピロリ菌、通称ピロリ菌は、日本人の50%、40~50歳では実に70~80%が感染しているとされています。胃がん患者の98%がピロリ菌に感染しており、胃がんの主要原因であります。経口感染が主な感染源とされ、現在では幼少期に両親などから感染しているとされています。

市は来年度、腎炎や糖尿病の早期発見、早期治療を目的とし、小・中学校の児童・生徒に新たな尿検査を実施すると聞いています。この尿検査と一緒にピロリ菌の抗体尿検査を行うことが最適と考えますが。

答 教育委員長 市内小・中学校の全児童・生徒を対象に、腎炎や糖尿病の早期発見と悪化防止を目的とした新たな学校検尿システムは、市医師会及び山梨大学医学部の

防災・減災について

協力をいただき、明年度からの実施が可能となったものです。提案のピロリ菌の抗体検査については、明年度、同システムを運用していく中で専門家や委託検査機関の意見を聞き、取り込みが可能か研究していきたいと考えます。

質問 本年2月の減災フォーラムで、先人の教訓から学ぶこと。我が市・地区の自主防災組織の重要性や実際の災害を想定した防災訓練の必要性と児童・生徒に対する防災・減災教育の必要性を痛感しました。市内全地区に自主防災組織の構築を目指す本市の取り組みを伺います。

答 市長 本年度、地域減災リーダーの連絡協議会を立ち上げ、地域の自主防災の組織化に向け、減災知識、技能の共有を図る体制づくりに努めてきました。明年度は、自主防災活動に必要となる資器材の整備に関し、自主防災組織支援事業補助金を設け、自主防災の組織化を加速化していく考えです。



小林恵理子 議員
【日本共産党】

その他質問

- ◆市長の政治姿勢について
- ◆農協「改革」問題及び農業支援策について
- ◆市内の交通渋滞の解消について
- ◆戦後70年の節目においての平和行政について

地区役員等の報酬、地区運営費補助金の見直しについて

【質問】市は、「特別職の職員で非常勤のもの」の報酬を改定しますが、多くが減額で1、712万円の削減と説明しています。行政と連携し、地域で重要な役割を果たしているのが委員や役員です。長年現在の報酬が継続されてきた中、他市の平均額を基本に一律に減額することは、安易で乱暴なやり方です。特に地区役員報酬と地区運営費の見直しは、市民の批判が噴き出しています。区長代理や組長の報酬を廃止し、区の運営費を新設したとしていますが、同等の手当を支給することは不可能です。また農業土木員環境衛生指導員の役割も重要で報酬の減額はすべきではありません。

市長は「市民目線での行政運営を行い、市民と

を短時間と標準時間に区分し、認定時間を超過した場合に延長料金が発生するのは後退で、負担増とならない設定が必要です。第2子の保育料

一緒に協力してまちづくりを推進していく「市民との絆を大切に、市民の声を大切に『チーム葦崎』として、まちづくりに取り組んでいく」ことを表明しています。より広範な市民の意見に耳を傾けて、その内容も含め慎重に進めるべきで、今回の報酬見直しは中止し、再検討すべきと考えます。

【答】市長 本市では、長期にわたりその見直しを行ってこなかったことから、葦崎市報酬審議会の答申や、地区長連合会の議論の結果を踏まえ、見直しをさせていただいたところでありま

子ども・子育て支援新制度について

【質問】保育料の階層区分の設定が、所得税額から市町村民税額に変更となります。大幅な保育料増額は避け、現行水準の維持が基本です。保育時間

全額免除はどう検討されたのか。正規保育士と嘱託職員との比率の改善は行われるのかについてもお聞きします。

【答】市長 保育料については現行水準を維持し、さらに多子軽減などにより保護者の負担軽減を図りました。第2子の保育料の全額免除は、試算を行う過程で困難と判断しましたが、軽減率は現状を維持しつつも対象年齢を小学校3年生まで拡大し、負担軽減しました。公平性の観点から保育短時間認定の保護者には、延長保育料を負担していただきます。また職員体制は、比率改善も踏まえ、退職補充ではなく保育士2名を採用しました。今後も計画的に採用していきますが、長時間利用者が増えることが見込まれ、その対応に嘱託職員が欠かせず、当分の間は正規保育士と嘱託職員の比率の改善は困難です。



藤嶋 英毅 議員
【経世クラブ】

その他質問

- ◆市立西中学校前道路の整備について
- ◆市立東中学校生徒通学路（主要地方道葦崎昇仙峡線歩道）の安全確保について
- ◆在宅介護制度の問題点について

安倍内閣が進める農協改革について

【質問】安倍内閣は、農協改革を強引に進めようとしています。安倍首相の狙いは、日本を「世界で一番企業が活躍できる国」にすることにありま

- ①農業関係者の意見を無視し、規制改革会議などの財政側委員の提案を一方向的に採用している。
- ②農協は、TPPに反対運動を展開してきており、交渉の妥結を急ぐ安倍政権の邪魔者として
- ③単協（各地域で総合事業を行っている農協）から信用・共済事業を分離し、農林中央金庫に移管する。単協の経営破綻を招く。
- ④家族農業の破壊。

⑤農家所得が倍増するといっても実感が無い。以上のように、農協関係者の様々な反対意見が多くあります。市長は、この改革をどう考えるか。

【答】市長 今回の農協改革は、地域農協の自主性を尊重するものであり、実情に即した独自性を発揮し、本来の目的である農家組合員の生活を支える改革であると伺っていますが、現在、国会で審議中でありま

「不審者」(犯罪防止)の対策について

【質問】私もスクールガードに登録していますが、その登録動機は、登下校時の子どもの安全を守るという点と、もう一つは、大人社会や地域社会が、子どもたちの信頼を得るとい

た。この事件を機に地域として、学校のみならず、地域を含めた新たな対応が生まれても良いと思うが、所見を伺う。【答】教育委員長 日頃の校種間での情報共有や警察との密接な連携、地域の見守りが一層必要であると考えます。このため、葦崎警察署管内の小・中・高校の生徒指導主事、校長、警察署長、生活安全課長、少年補導員等が属する「学校、警察連絡協議会」を通して、より緊密な情報交換を行うよう働きかけるとともに、市内小・中学校と近隣高校間での生徒指導情報の共有化など、組織的な対応の一層の強化を図っていきたく考えています。また、新たな地域での見守りについては、市PTA連合会などと協議する中で、研究していきたく考えています。

第6回議会報告会を開催します

市議会では、平成22年度に第1回を開催し、今回、6回目となる議会報告会を開催します。

今回の各地区で報告する共通テーマは「常任委員会活動報告」と「政務活動費」の2項目としました。議員の活動報告とあわせて、市民の皆様が関心を持たれていることをテーマの1つとして設定しました。

また会場ごとに、地区、地域のご意見等をお聞きして、各々の現況や課題を地区テーマとして選定し、それぞれ議員から関連事項を報告します。なお、各テーマに係る報告を終了した後、参加者の皆様と議員との意見交換の時間も設けます。

前回は、5会場に延べ317名の多くの皆様にご参加いただきましたが、今回の報告会にもさらに市民多数の皆様のご参加をお願いいたします。

- 甘利地区会場：6月28日(日) 午後7時30分～ 大草ふれあいホール
 - 北東地区会場：7月1日(水) 午後7時30分～ 中田公民館
 - 韮崎地区会場：7月3日(金) 午後7時～ 市民交流センター「ニコリ」1階会議室
 - 北西地区会場：7月4日(土) 午後7時30分～ 清哲会館
 - 穂坂地区会場：7月4日(土) 午後8時～ 穂坂コミュニティーセンター
- ※地区回覧でもお知らせしますのでご覧ください。



前回の開催状況

編集後記

「地方創生元年」と称される本年、人口動向や産業の実態を踏まえながら、地方が自ら考え、行動を起こすことが重要になっていきます。本市でも人口対策担当の新設や農工商の振興に係る各種事業の推進に取り組んでいます。議会も、韮崎の素晴らしさを皆さんに知ってもらえるよう精力的に活動していきます。

さて、本年は、5年に一度行われる国勢調査の年です。平成27年10月1日現在で調査が実施されますが、日本に住んでいる全ての人と世帯を対象とする国の最も重要な統計調査です。国勢調査の結果は、国や地方公共団体における各種の行政施策を立案するための基礎資料として用いられることはもとより、教育、福祉、経済活動や生活環境整備、災害対策など幅広い分野で利用されますので、調査へのご協力をお願いします。

議会だより編集委員会

委員長 清水 一
副委員長 秋山 泉
委員 森本由美子
委員 岩下 良一
委員 小林 伸吉
委員 小野 賢一

- 6月 4日 開会
諸報告
市長所信表明
- 15日 一般質問
- 16日 一般質問
- 17日 議案審議
財務常任委員会
- 18日 各常任委員会
- 22日 議案審議
委員会報告
閉会

※上記日程は、定例会前の議会運営委員会において正式に決定されます。

※委員会の傍聴を希望する方は、事前に申込手続きが必要です。

※本会議は、インターネットでライブ中継・録画中継を配信しています。

6月定例会日程〈予定〉